

## 応募愛称候補

番号	直売所愛称	ふりがな	愛称の理由
1	桔梗	ききょう	背後に「花」(都倉家)等のお墓が並んでおり、秋の七草の一つでもある。山野に自生し、5つに割れた青紫色の美しい花を咲かす。
2	フレイマルシェながわ	ふれいまるしえながわ	フレイ(FRAIS)はフランス語で新鮮。マルシェは市場(マーケット)の意味。新鮮野菜を扱うのに耳に良い響きがある。
3	マルメロマルシェ	まるめろまるしえ	マルメロに親しみを持ち、沢山の人が集まり、買い物を楽しんでいる直売所をイメージした。
4	ながわの泉	ながわのいずみ	町内に湧き水が多く湧き、清流で作られた作物の直売所をイメージした。
5	黒曜石(耀でも可)	こくようせき	他の直売所のチラシを見るが、何処にあるのか分からない。長和町内の施設に「黒曜石」と付けて、名称ですぐに長和町を思い起こすようにすべきと考える。
6	涼風小町	すずかぜこまち	涼風: 町歌でも歌われている風をテーマに夏の季語、さわやかな風、避暑地をアピール。小町: 美しい塔、美しい町に住む人の意味を込めて、美しい人を意味する小町。
7	マルシェ黒耀 ～黒耀の里ながわ～	まるしえこくよう	黒耀石の原産地長和町。黒耀水で野菜のみずみずしさをイメージしていただけたらと思う。
8	マルシェながわ	まるしえながわ	名称はマルメロの駅ながわではあるがマルメロのインパクトが少ない。(マルメロを育てていくのは経費もかかる大変である)
9	よってけ屋ながわ	よってけやながわ	今までの名称はそのまま行くのが良い。
10	なっちゃんマルシェ	なっちゃんまるしえ	なっちゃんのように皆に愛される場所になってもらいたい。
11	マルメロ.ながと	まるめろながと	道の駅との関連で場所も分かりやすいし、言いやすい、覚えやすい。
12	こくようの里	こくようのさと	長和町をイメージさせる、古代からの特産物である黒耀石に因むが、黒耀を漢字表記ではなく、敢えて平仮名表記にする事で、柔らかさと親しみやすさをアピールする。
13	ヒマワリ	ひまわり	太陽を追って花がまわるといふ俗説があるが、堂々とした、公然とした様がシンプルに馴染め親しまれる施設になる様にとの願い。
14	長和マルメロ駅	ながわまるめろえき	マルメロの里にちなんで。
15	黒耀の丘	こくようのおか	黒耀石=長和町というイメージがあったため、黒耀という字を使いたいと思った。また、マルメロの駅を離れた場所から見ると丘のように見え、なだらかに優しい印象を与える。
16	木漏れ日	こもれび	森林などで、日がちらちら降り注いでいる様子。せわしく不安の多い昨今。森林をバックに日がちらちら降り注いでいるイメージの直売所でゆっくりしていきませんか。
17	なっち 庵	なっちあん	マスコットキャラクターのなっちゃんをモチーフにしました。
18	ラビレ.ながわ	らびれ.ながわ	ラビレはフランス語で町を意味する。観光客も利用すると思うので、簡単で、おしゃれな名称にした。
19	マルシェ黒耀	まるしえこくよう	太古から黒耀石を産出してきた神秘の地。黒耀石で磨かれた「水」が育む米や野菜、そして人。地域全体の発展を含め黒耀石の里長和町のブランディングやPRIに適し、また移住定住者の縁を結ぶ直売所。
20	黒耀	こくよう	星箕峠及び周辺で黒耀石が発掘され狩猟から日用品まで使われていたことから歴史ある長和町の道の駅の愛称にと。黒耀石の展示もお願いしたい。
21	お！モーニングテラス	お！モーニングテラス	観光や近隣の町の人達が、「うん？おっ！モーニングテラスだと。行ってみようか」と通り過ぎて引き返してくるような太陽がさんさんと降り注ぐ、また斬新なイメージ。
22	黒耀の里	こくようのさと	1.日本を代表する黒耀産地。2.日本遺産(黒耀登録)3.星箕峠の資料館(建設に期待)
23	ずくだに〜！！	ずくだに〜	よく耳にする信州の素晴らしい方言。これを沢山の人が知ってもらい、愛される直売所になり、生産者(みんなが)楽しめ、笑顔が溢れ、寄ってみたいという道の駅を期待している。
24	ながとマルメロステーション	ながとまるめろすていしよん	「言いやすさと響き」聞き慣れた言葉の組み合わせで、PRIには良いと思った。

## 応募愛称候補

番号	直売所愛称	ふりがな	愛称の理由
25	すいめい郷	すいめいきょう	水明の里にちなんで。
26	RestPlza MaruMero	れすとぶらざまるめろ	いこいの広場「Rest Plaza」と、マルメロの駅ながとの中にある聞き慣れた「マルメロ」から。(キャラクターも作ってもらいたい)※案「マルちゃん」、「メロちゃん」
27	パティオ・マルメロ	ぱていお・まるめろ	パティオは中庭やテラスを意味する言葉であり、そこで人々が気軽に買い物や話ができるようにと願いを込めた。
28	輝きの里 マルメロマルシェ	かがやきのさとまるめろ まるしえ	町の特別シンボル黒耀石と、道の駅名である「マルメロ」を使った名称。「マルメロ」の花言葉は「魅惑」と「幸福」。豊かな自然と人々の魅力が集まり、訪れた方に幸福をもたらす。訪れた方が輝ける場所であるというイメージ。
29	産直よだくぼ	さんちよくだくぼ	地区内の呼び名を残してほしい。
30	黒耀の里マルシェ	こくようのさとまるしえ	地区産地、縄文時代、石器時代を全国に広く分布するように。
31	朝どり菜賀和(輪)	あさどりながわ	新鮮さのアピールと協同の輪。文字は語呂合わせで地域名を。
32	かがやきの里長和	かがやきのさとながわ	道の駅をアピール。
33	きぼうの里	きぼうのさと	地区、地域の将来のため。小農家の希望となる直売所。
34	みらいの郷	みらいのさと	寒村の将来性を期待して。
35	長和の有機マルシェ	ながわのゆうきまるしえ	農薬、化学肥料でなく健康のためにも。
36	マルシェなっちゃん	まるしえなっちゃん	なっちゃん。長和のゆるキャラから。
37	いっぺこーや	いっぺこーや	来て下さいを方言で「こーや」という。地域の人、県内外の人と、多くのお客さんに長和町の直売所に来てもらおうという意味。楽しく買い物したり、住民と交流できる活気ある直売所を目指してもらいたい。
38	長和町道の駅 ゆこうよ	ながわまちみちのえきゆ こうよ	観光の途中に寄りたいイメージ。日常の中で、普通に使っている言葉。あそこに行ってみたい、買い物したい、憩いの場。
39	青空畑	あおぞらばたけ	山と山の谷間から見える空がとても青できれいなので。来年の春楽しみにしている。
40	ながわの里	ながわのさと	わかりやすいと思う。
41	マルメロ マルシェ	まるめろまるしえ	マルメロがあるマルメロの駅ながとの農産物直売所なので、仏語で市場の意味の日本でスタンダードに知られたマルシェとマルメロを組み合わせ呼びやすくした。
42	よってけ屋	よってけや	寄って、見て、買ってもらう。
43	マルメロファーム	まるめろふぁーむ	ファーム(farm)=農場・農園。
44	長和の菜っちゃん	ながわのなっちゃん	地域の皆様の野菜購入の場所として、大いに喜ばれています。
45	菜っちゃん家	なっちゃんち	地域の皆様の野菜購入の拠点として、おいに喜ばれています。
46	よしみち		「ちょっと寄り道してかない」と気軽に寄って頂けるお店。お店に入ったら新鮮な野菜がいっぱい。(長和特産の)嬉しくなる。
47	フレッシュデ일리ー長和	ふれっしゅでいりーなが わ	盛り沢山の野菜群のため、決まってここで買うようになった。
48	ふれ愛菜ながわ	ふれあいさいながわ	元気でふれ合いながら、新鮮な野菜群とめぐりあえる幸福を感じられる。

応募愛称候補

番号	直売所愛称	ふりがな	愛称の理由
49	フレッシュフードセンター	ふれっしゅふーどせんたー	毎日が新鮮な野菜群のフェスティバルが開かれると思うと、悦びになる大型店。
50	マルシェ菜幸館	まるしえさいこうかん	最も多い集客時間帯は、朝市だと思うから。
51	デイリーアグリ長和	でいりーあぐりながわ	通常野菜購入場所として、ここに決まってしまった。
52	デイリーフーズ長和	でいりーふーずながわ	地域の皆様が最も多く集まる場所、それがここである。
53	かりんちゃんながわ	かりんちゃんながわ	
54	野菜広場「マルメロ」	やさいひろばまるめろ	現在でも知られているマルメロを主に広場という市場のイメージがあると思う。
55	フレッシュ	ふれっしゅ	新鮮という意味。
56	耀光の里	ようこうのさと	自然豊かな町に縄文時代に輝いた、黒耀石のように活気のある明るい直売所になりますように。
57	ミンクル長和	みんくるながわ	心=mind、ふれあう輪=circleでmind circleの文字からmiucle(ミンクル)となる。直売所に沢山の人が来る「みんな来る」の略でもあり願いでもある。
58	よってけ屋！	よってけや	今まで同じ場所に「よってけ屋」という直売所があり、気軽に寄っていただけるような名称かなと思う。町内外の多くの人々が「ちょっとよってけや」と声をかける感じが良いと思う。
59	路のしずく	みちのしずく	しずく(雫)とは水滴。地区の野菜、水滴があるうちに収穫し、新鮮さを持って、販売する。長和の水滴を各地に運んでほしい。